

SDGs新聞

アスクル株式会社

きれいな海と生き物たちをゴミから救え！

SDGsラジオを聴いてみよう！

みなさんは、海のゴミ問題について、考えてみたことはありますか？

今、レジ袋やペットボトルなどのたくさんのゴミが海を漂ったり、海岸に流れついでいて、環境に悪い影響を及ぼしています。

さまざまな商品のネット通販を行っている「アスクル」は、レジ袋なども販売していることからこの問題に着目し、調査を進める中で出会ったのが長崎県の対馬市です。

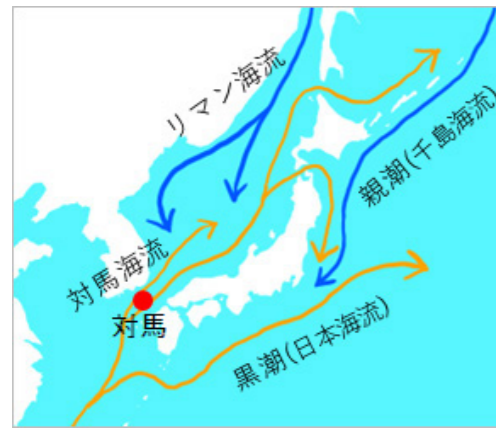
九州と韓国に浮かぶ対馬市は、海の流れの関係から日本や近隣の国で発生したゴミが、大量に流れついでいます。

そこでアスクルは対馬市と一緒に、レジ袋の売上の一部を対馬市に寄付してゴミの回収・処理に役立てる取り組みを始めました。

他にも、社員が対馬市でゴミ回収などを行うスタディツアーを毎年開催したり、イベントで対馬市のゴミ問題を紹介したりなど、

いろんな取り組みを進めています。さあ、みなさんもゴミを減らすためにできることを考えましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



九州の福岡市から北西に約130km、韓国の釜山から南に約50kmの位置に「対馬」という大きな島があります。今、この対馬で問題になっているのが、「海洋プラスチックゴミ(以下「海洋ゴミ」)」の漂着です。南北に細長く、入り組んだ海岸が特徴的な対馬は、日本海の出入口付近に位置しているため、対馬海流や季節風によって陸地から運ばれてきた海洋ゴミが漂着してしまいます。それにより、島の美しい景色、生態系や漁業などにも影響を与えています。一刻も早くこの海洋ゴミの問題を解決しなければ、やがて対馬は「ゴミの集積場」になってしまう恐れがあります。

画像参照：対馬市の位置および海流との関係(アスクル公式HPより)



画像参照：長崎県対馬市とアスクル・SDGs連携協定締結の様子(アスクル・プレスリリースより)

そこで、さまざまな商品のネット通販を行っている会社「アスクル」は、プラスチック製の「レジ袋」を販売している会社としての責任を果たすために、2021年2月に対馬市と「SDGs連携協定」を結びました。その取り組みの第一歩として、「TSUSHIMA×ASKUL project」を立ち上げ、レジ袋の売上の一部を対馬市に寄付し、海洋ゴミの回収・処理に役立てています。また社員を対象に、対馬を訪れて海洋ゴミ回収を行うスタディツアーを毎年開催したり、他にもさまざまなイベントで対馬の海洋ゴミ問題を紹介したりなど、いろいろな取り組みを行っています。さらに、アスクルは今、海洋ゴミを加工・再生した商品の開発・販売をめざし、海洋ゴミの減少に向けて積極的に動いています。

キーワード

対馬

長崎県の島。面積は約700km²、人口は約3万人です。対馬市はこの島に位置する市で、島のほぼ全域を占めています。

海洋プラスチックゴミ

海へ流出し、漂っているプラスチックゴミの事です。

対馬海流

九州の南西から流れる暖かい海流。対馬海峡を通って日本海に流れ込みます。

対象ゴール



みなさんにできること！

海洋ゴミを減らすためにはどうすればいいか考えてみましょう。

おさらい

- 福岡市から北西に約130kmの位置に「対馬」という大きな島がある。
- 対馬では「海洋ゴミ」の漂着が、深刻な問題になっている。
- 「アスクル」は対馬市と連携し、海洋ゴミ問題を解決するためにさまざまな取り組みを行っている。

メモ

.....

